

各位

株式会社トップカルチャー
 代表取締役社長 清水秀雄
 (コード 7640 東証1部)

トップカルチャー 2011年10月期 第2四半期連結業績

営業利益・経常利益ともに過去最高益を達成！

売上高	17,537 百万円	(前年比 98.0%)
営業利益	764 百万円	(前年比 140.8%)
経常利益	737 百万円	(前年比 129.9%)
四半期純利益	326 百万円	(前年比 111.7%)

当第2四半期は、当社グループの主軸である蔦屋書店事業において、収益力強化として既存店の移転・統合閉店を積極的に進めており、店舗数が前年同四半期末に比べ2店舗減少いたしました。また、東日本大震災の発生による影響で新作商品の発売延期・中止が相次いだことや計画停電の実施に伴い一時閉店や営業時間の短縮が発生したこと等により、既存店の売上高前年比は99.2%とほぼ前年並みの推移、全店では売上高前年比は97.9%となりました。

利益面では、引き続きコスト効率の改善に取り組んだ結果、営業利益・経常利益ともに前年同期に比べ大幅に増加し、過去最高益を達成いたしました。なお、第1四半期に資産除去債務に関する会計基準適用に伴う特別損失158百万円、店舗の統合閉店に伴う特別損失5百万円を計上したこと(期初計画織込済)および当第2四半期に投資有価証券売却に伴う特別利益28百万円を計上した結果、四半期純利益は、326百万円(前年比111.7%)となりました。

● 既存店：主力商品の書籍・レンタル・文具が好調！

書籍は既存店売上高前年比101.7%(全店100.6%)、レンタルは既存店売上高前年比102.3%(全店100.7%)、文具は既存店売上高前年比102.3%(全店101.2%)と好調に推移し、業績に寄与いたしました。書籍は売上上位商品の充足率強化および定番商品の品揃え強化により売上の底上げを図ったことが奏功いたしました。レンタルは、品揃えの拡充を図った映像レンタルが既存店前年比103.3%と好調となり、売上を押し上げました。文具は提案性の高い売場づくりへの取り組みが奏功し、売上を順調に伸ばしております。

● 東日本大震災発生による影響

関東エリアの一部店舗において、商品・備品の破損や建物・設備等の毀損などの被害を受け、営業中断を余儀なくされました。また、計画停電の実施に伴い、一時閉店および営業時間の短縮が続きましたが、4月より全店舗通常営業に戻っております。なお、新作商品の発売延期・中止が相次いだことから、売上見込に対し若干の影響はございましたが、通期業績への影響は軽微なものを見込んでおります。

● 既存店改装により BOOK&CAFE スタイルを推進！

当社は、お客様の期待を超える「心地良いコミュニティ空間づくりの実現」を掲げ、既存店の改装を重点取り組みとして推進しております。

当第2四半期においては、蔦屋書店 長野川中島店（長野市）、蔦屋書店 新通店（新潟市）、蔦屋書店 府中クレッセ店（東京都府中市）の3店舗を改装し、新たにタリーズコーヒーをテナントとして加え、エンターテイメント・コンテンツとカフェが融合した“BOOK&CAFE”スタイルにリニューアルいたしました。これにより、グループ74店舗中、8店舗がBOOK&CAFEの業態となりました。



改装後はご家族連れやシニアのお客様に幅広くご利用いただいております。コーヒーを片手にゆっくりと読書を楽しむライフスタイルが広がっております。今後とも、「心地良いコミュニティ空間づくりの実現」を目指し、既存店の付加価値向上に努めてまいります。

● 2011年8月、群馬県に国内最大級の蔦屋書店を出店予定！

国内最大級となる店舗面積 1,800 坪の超大型複合店を 2011 年 8 月、群馬県に新規出店 いたします。

当社は、2009年7月に蔦屋書店 新潟中央インター店(900坪)、2010年7月に蔦屋書店 長岡古正寺店(1000坪)を出店し、大型店の開発に取り組んでまいりましたが、今回出店する「蔦屋書店 群馬新店」では、これまで蓄積してきたノウハウを生かしてさらなる店舗の大型化を進め、より一層の集客力向上を目指します。

主力商品では、書籍と文具・雑貨の品揃えをこれまで以上に拡大し、多様化するニーズへの対応と様々なライフスタイル提案を行うほか、カフェの併設や地域住民が利用できるミニコンサートや絵本の読み聞かせ会を行うイベントスペースの設置により、地域のコミュニティ空間としての役割を強化してまいります。小さなお子様からご年配の方まで誰もがいつでも楽しめる「エンターテイメント空間と時間」を提供してまいります。



● 当期より中間配当を実施！

当期より、株主の皆様への利益還元の機会を充実させるため、中間配当(基準日:毎年4月30日)を実施させていただくことといたしました。2011年10月期の中間配当につきましては、本日開催の取締役会にて1株当たり7円50銭、支払開始日は7月5日と決定いたしました。なお、期末の配当予想は1株当たり7円50銭、年間合計で15円00銭を予定しております。

● 2011年10月期 通期連結業績予想(2010年11月1日~2011年10月31日)

2011年10月期は、下期に新規出店1店を予定しております。引き続き原価率の改善とコスト効率の見直しにより、大幅な収益体質の改善に取り組んでまいります。

当第2四半期までの業績が概ね計画通りに推移していることから、2011年10月期の通期連結業績予想は、売上高 35,000 百万円(前年比 103.3%)、経常利益 1,100 百万円(同 112.6%)、当期純利益 460 百万円(同 101.0%)を見込んでおり、従来公表に変更はございません。

1. 連結業績の概要

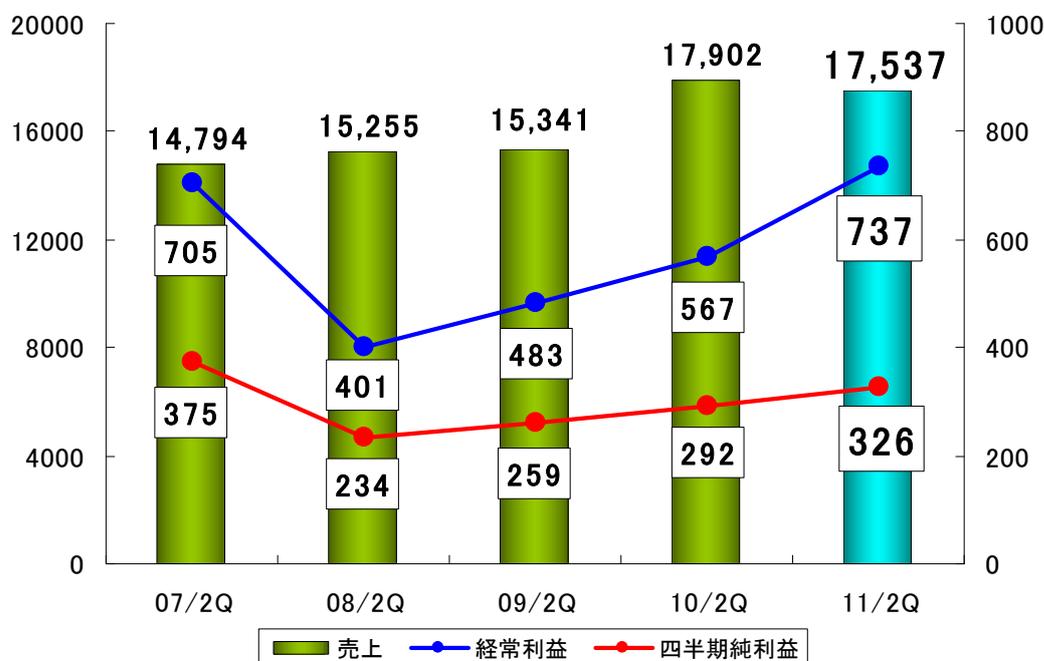
【連結サマリー】

(百万円)

	2010年10月期 第2四半期		2011年10月期 第2四半期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	17,902	100.0	17,537	100.0	98.0
売上総利益	5,596	31.3	5,534	31.6	98.9
営業利益	543	3.0	764	4.4	140.8
経常利益	567	3.2	737	4.2	129.9
四半期純利益	292	1.6	326	1.9	111.7
EPS(円)	24.37		27.22		111.7

売上高(百万円)

経常利益
当期純利益(百万円)



【蔦屋書店部門サマリー】

(百万円)

	2010年10月期 第2四半期		2011年10月期 第2四半期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	17,335	100.0	16,966	100.0	97.9
売上総利益	5,434	31.4	5,360	31.6	98.6
営業利益	519	3.0	722	4.3	139.0
経常利益	585	3.4	735	4.3	125.5
四半期純利益	309	1.8	330	1.9	106.6
EPS(円)	25.84		27.54		106.6

2. 商品別売上高の状況

- ・ 書籍は引き続き売上上位商品の充足率強化および定番商品の品揃え強化により売上の底上げを図ったことが奏功いたしました。
- ・ レンタルは品揃えの拡充を図った映像レンタルが好調となり、売上を押し上げました。
- ・ 文具は提案性の高い売場づくりへの取り組みが奏功し、売上を順調に伸ばしております。
- ・ 販売用CD・DVDは発注精度の向上および売場効率の見直しに取り組んでおります。

(百万円)	10年10月期 第2四半期	11年10月期 第2四半期			既存店	
	金額	金額	増減額	前年比	前年比	
蔦屋書店部門	書籍	7,182	7,224	41	100.6	101.7
	レンタル	3,913	3,940	26	100.7	102.3
	販売用CD	1,727	1,533	△193	88.8	90.5
	文具	1,345	1,361	15	101.2	102.3
	販売用DVD	1,115	1,046	△68	93.8	95.2
	その他	2,050	1,859	△190	90.7	
	小計	17,335	16,966	△368	97.9	91.8
トップブックス部門計	486	479	△6	98.7		
グランセナ部門計	81	91	10	112.7		
合計[連結]	17,902	17,537	△365	98.0		

3. 出店・改装の状況

- ・ 「TSUTAYA 深谷店」は「蔦屋書店熊谷店」へ統合し、閉店いたしました。
これに伴い、「蔦屋書店熊谷店」を改装し、CD・DVD レンタルの取扱いを始めております。
- ・ 既存店 3 店を改装してカフェ導入し、BOOK&CAFE スタイルの業態に変更いたしました。
- ・ 2011 年 8 月に、当社最大規模となる1800坪の超大型複合店を 1 店出店する予定でおります。

グループ合計店舗数 74 店舗 延床面積合計 34,054 坪

(1店当たり 平均 460 坪)

【2011 年 10 月期 出店・改装計画】

	店名	場所	開店日/閉店日
統合閉店	TSUTAYA 深谷店 ⇒蔦屋書店 熊谷店へ統合	埼玉県	2011/03/06
改装 BOOK&CAFE スタイルに変更	蔦屋書店 長野川中島店	長野県	2011/04/29
	蔦屋書店 新通店	新潟県	2011/04/29
	蔦屋書店 府中クレッセ店	東京都	2011/05/02
統合閉店	古本市場トップブックス 佐和田店 ⇒蔦屋書店 佐渡佐和田店へ統合	新潟県	2011/06/26(予定)
新規出店	蔦屋書店 新店	群馬県	2011/08(予定)

4. 2011年10月期の業績予想

- ・ 当第2四半期までの業績が概ね計画通りに推移していることから、平成22年12月8日に公表した通期連結業績予想に変更はございません。
- ・ 下期に国内最大級となる1800坪の超大型複合店1店を出店する予定であります。
- ・ 引き続き、原価率の改善及びコスト効率の改善に取り組み、収益体質の改善を図ってまいります。

【連結】

(百万円)

	10年10月期		11年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	33,871	100.0	35,000	100.0	103.3
経常利益	976	2.9	1,100	3.1	112.6
当期純利益	455	1.3	460	1.3	101.0
EPS(円)	37.95		38.33		101.0

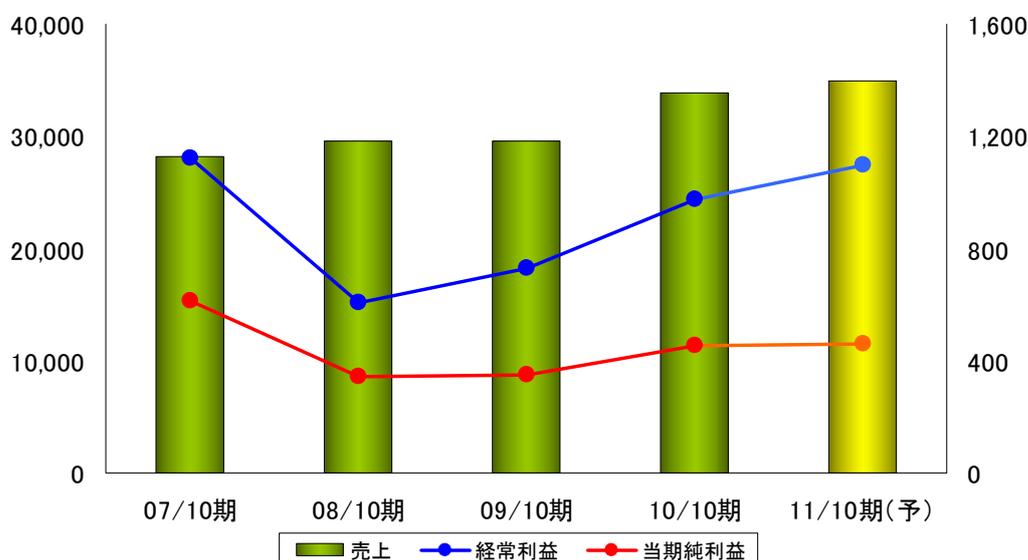
【蔦屋書店部門】

(百万円)

	10年10月期		11年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	32,844	100.0	34,000	100.0	103.5
経常利益	1,007	3.1	1,110	3.3	110.2
当期純利益	584	1.8	477	1.4	81.6
EPS(円)	48.75		39.75		81.6

売上高(百万円)

経常利益
当期純利益(百万円)



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

蔦屋書店

【本資料に関するお問い合わせ先】

株式会社トップカルチャー 取締役管理部長 遠海 武則

TEL: 025(232)0008 / FAX: 025(265)1260

<http://www.topculture.co.jp>